

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2003-169793(P2003-169793A)

【公開日】平成15年6月17日(2003.6.17)

【出願番号】特願2001-373969(P2001-373969)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 6/03

A 6 1 B 6/04

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 3 E

A 6 1 B 6/03 3 3 0 A

A 6 1 B 6/04 3 3 2 P

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月6日(2004.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体を搭載する天板を所定方向に移動させる移動手段と、予め設定された計測条件に基づいて移動速度及び移動方向を決定し、前記移動手段を制御して該決定された移動速度及び前記天板の水平移動を制御する天板制御手段と、前記天板制御手段から前記移動手段への制御出力の伝送路中に配置され、前記天板の移動を伴う操作入力に応じて前記伝送路を開状態にすると共に、前記操作入力の終了から予め設定された時間の経過後に前記伝送路を開状態とする開閉手段とを備えた医用X線装置であって、前記天板の移動を指示するボタンあるいはX線撮影中の天板の移動を許可するボタンと、ボタンの押下の解除を検出し該解除の検出から所定時間の経過後に移動手段から前記天板制御手段を遮断する手段を備えたことを特徴とする医用X線装置。

【請求項2】

前記請求項1に記載の医用X線装置において、前記天板の移動を指示するボタンあるいはX線撮影中の天板の移動を許可するボタンと、ボタンの押下の解除を検出し該解除の検出から所定時間の経過後に移動手段から前記天板制御手段を遮断する手段は、移動指示ボタンの備える第1の接点回路と、許可リレーの第2の接点回路とがディレイリレーのソレノイドに対して並列に接続され、前記第1の接点回路と第2の接点回路の何れかが閉じている場合に、前記ディレイリレーのソレノイドに電流が流れ、前記ディレイリレーの接点回路が閉じる構成となっていることを特徴とする医用X線装置。